

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホームひらまの里	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 84人) 在籍者数 87人(令和3年3月31日現在:入院等不在者を含む) <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>87</td> </tr> </table>								介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	3	1	26	34	23	0	87											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																											
	利用者数	3	1	26	34	23	0	87																											
	②通所介護事業(通所定員 35人/日) 年間延べ利用者数 4,145人 :定員に対する稼働率 38.5% <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>322</td> <td>297</td> <td>385</td> <td>388</td> <td>351</td> <td>365</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>387</td> <td>339</td> <td>326</td> <td>308</td> <td>315</td> <td>362</td> </tr> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	322	297	385	388	351	365		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	387	339	326	308	315
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																													
延べ利用者数	322	297	385	388	351	365																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
延べ利用者数	387	339	326	308	315	362																													
③短期入所事業(定員 16人) 年間延べ利用者数 759人:定員に対する稼働率13% <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>211</td> <td>135</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3</td> <td>47</td> <td>52</td> <td>66</td> <td>63</td> <td>56</td> </tr> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	211	135	62	64	0	0		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	3	47	52	66	63	56
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																													
延べ利用者数	211	135	62	64	0	0																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
延べ利用者数	3	47	52	66	63	56																													
収支実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(令和3年3月分) <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>90</td> </tr> </table>								介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	29	24	14	16	7	0	90											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																											
	管理者数	29	24	14	16	7	0	90																											
	①特別養護老人ホーム事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>298,841,825</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>72,179,658</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>9,690,149</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>380,711,632</td> </tr> </table>				介護料収入	298,841,825	利用者等利用料収入	72,179,658	その他の事業収入	9,690,149	合計	380,711,632	(支出) (単位:円) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>219,746,604</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>62,442,174</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>59,283,026</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>341,471,804</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>39,239,828</td> </tr> </table>				人件費	219,746,604	事業費	62,442,174	事務費	59,283,026	合計	341,471,804	(収支差額)	39,239,828									
介護料収入	298,841,825																																		
利用者等利用料収入	72,179,658																																		
その他の事業収入	9,690,149																																		
合計	380,711,632																																		
人件費	219,746,604																																		
事業費	62,442,174																																		
事務費	59,283,026																																		
合計	341,471,804																																		
(収支差額)	39,239,828																																		
②通所介護事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>34,861,058</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>2,565,400</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>2,299,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,725,458</td> </tr> </table>				介護料収入	34,861,058	利用者等利用料収入	2,565,400	その他の事業収入	2,299,000	合計	39,725,458	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>38,831,465</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,089,792</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,511,967</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54,433,224</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>▲ 14,707,766</td> </tr> </table>				人件費	38,831,465	事業費	8,089,792	事務費	7,511,967	合計	54,433,224	(収支差額)	▲ 14,707,766										
介護料収入	34,861,058																																		
利用者等利用料収入	2,565,400																																		
その他の事業収入	2,299,000																																		
合計	39,725,458																																		
人件費	38,831,465																																		
事業費	8,089,792																																		
事務費	7,511,967																																		
合計	54,433,224																																		
(収支差額)	▲ 14,707,766																																		
③短期入所事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>7,668,911</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>1,892,146</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>5,609,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,170,157</td> </tr> </table>				介護料収入	7,668,911	利用者等利用料収入	1,892,146	その他の事業収入	5,609,100	合計	15,170,157	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>32,862,631</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,810,147</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>8,290,471</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47,963,249</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>▲ 32,793,092</td> </tr> </table>				人件費	32,862,631	事業費	6,810,147	事務費	8,290,471	合計	47,963,249	(収支差額)	▲ 32,793,092										
介護料収入	7,668,911																																		
利用者等利用料収入	1,892,146																																		
その他の事業収入	5,609,100																																		
合計	15,170,157																																		
人件費	32,862,631																																		
事業費	6,810,147																																		
事務費	8,290,471																																		
合計	47,963,249																																		
(収支差額)	▲ 32,793,092																																		
④居宅介護支援事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>18,973,508</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>667,180</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,640,688</td> </tr> </table>				介護料収入	18,973,508	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	667,180	合計	19,640,688	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>16,594,391</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>778,306</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,372,697</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>2,267,991</td> </tr> </table>				人件費	16,594,391	事業費	0	事務費	778,306	合計	17,372,697	(収支差額)	2,267,991										
介護料収入	18,973,508																																		
利用者等利用料収入	0																																		
その他の事業収入	667,180																																		
合計	19,640,688																																		
人件費	16,594,391																																		
事業費	0																																		
事務費	778,306																																		
合計	17,372,697																																		
(収支差額)	2,267,991																																		
(収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>360,345,302</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>76,637,204</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>18,265,429</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>455,247,935</td> </tr> </table>				介護料収入	360,345,302	利用者等利用料収入	76,637,204	その他の事業収入	18,265,429	合計	455,247,935	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>308,035,091</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>77,342,113</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>75,863,770</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>461,240,974</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>-5,993,039</td> </tr> </table>				人件費	308,035,091	事業費	77,342,113	事務費	75,863,770	合計	461,240,974	(収支差額)	-5,993,039										
介護料収入	360,345,302																																		
利用者等利用料収入	76,637,204																																		
その他の事業収入	18,265,429																																		
合計	455,247,935																																		
人件費	308,035,091																																		
事業費	77,342,113																																		
事務費	75,863,770																																		
合計	461,240,974																																		
(収支差額)	-5,993,039																																		
サービス向上の取組	○コロナ感染の環境変化で施設内を環境整備の面から見直すことによって、過ごしやすい環境を作りだした。 ○コロナ禍でボランティアなどが来れないため、入所者が楽しめる小規模のレクリエーションなどを実践した。歌番組や映画などを観賞できるように業務変更等を行いながら、日々工夫をしている。 ○感染対策を各職員が徹底することにより、「自分たちはプロの支援員」という自覚が増し、契約職員、派遣職員含めて離職率が低下し、加えて知識・経験が豊富な職員が勤務することで、事故件数の減少にも結びついている。 ○コロナ禍において、ご家族と接する機会が少なくなっている状況から、少しでも施設内での生活の状況が分かるよう写真を撮影し、ご家族へ配布するなど新しいコミュニケーションの方法を実施した。新型コロナウイルスが終息した後も、施設内での様子をお伝えする取組みを継続する。																																		

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的にやっているか			
健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
		感染症への対策は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは、栄養ケアプランに関しては、3カ月ごとにごまめに見直しを行い、ご本人の嗜好や状態に合わせた食事・水分の提供に努めている。看取り介護は今年度11名の退所者のうち、6名の方を行った。個別性に合わせた特別なケアを提供する必要があると考え、利用者の特性に合わせた看取り介護を提供している。</p> <p>通所介護では、在宅生活の継続を目指し、歩行訓練やカラオケ、将棋、パズルなどの活動、また、脳トレの一つである左右の絵を比べる「まちがい探しクイズ」や映像やプリントを使用した手指の運動、季節に合わせた作品作り等を通して認知機能の維持が図れるよう取り組んでいる。</p> <p>短期入所事業では、在宅生活や他のサービス利用時の様子等の状況把握を行うとともに、利用者や家族のご要望を伺い、利用中のニーズを抽出し、職員間で共有することで、より具体的な個別化した支援を行っている。</p> <p>居宅介護支援事業所では、介護保険サービス、障害福祉サービス、インフォーマルサービス、医療保険サービスを併せながら、自宅介護を行いたいとの家族の思いを継続し、家族が精神的にも身体的にも疲れずに、利用者本位の在宅生活を継続できるように援助している。</p> <p>ボランティア等の受入れは、新型コロナウイルス感染防止のため中止したことから、地域交流が激減した。しかし、地域住民や施設利用者のご家族、ボランティアからマスクの寄付をいただくなど、逆に地域の方々から支援をしてもらった年度となり、施設職員として改めて地域貢献の重要性を再認識することができた。</p> <p>利用者の健康管理については、定期的に利用者の診察を行うほか、疾病の予防と異常の早期発見に努め、日々の様子観察と申し送りを通して利用者の健康管理を行っている。</p> <p>感染症の対策として、蔓延防止に関わる対応をスピード感をもって行えるよう、施設内に設置している感染症対策委員会を随時開催し、対応について決定した。PCR検査についても施設独自に医療機関を通さずに医療保険外の検査を導入し、新規利用者に対して検査を行うことが出来た。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>収入の確保として、特別養護老人ホームにおいては、入所選定を予め行い、退所者が発生した場合に速やかに入所できる体制を構築し収入増加に努め、今年度は利用実績が高い状態を維持することができた。短期入所生活介護では、コロナウイルスによる年度当初の緊急事態宣言の発令から、従来通りの受入れをできる体制を整えたが、他施設でのご利用や移行、その他ご逝去される方も多く、収入は大幅に減少した。通所介護事業においても、空き情報をケアマネ事業所に積極的に周知し、新規の利用者を増加させたが、コロナウイルスの影響により利用を自粛する既存の利用者の方が多く収入を増加させることはできなかった。他施設への入所や新型コロナウイルスの影響による自宅待機生活の慣れに伴う利用終了等、退所者が新規受入れ人数を上回り、利用率の維持が困難となった。しかし、収入増加の取組みとして、経口維持加算の算定を開始し、特別な状況の中、適切な管理運営を行った上で、収入の確保に努めた。</p> <p>衛生用品について、新型コロナウイルス感染症の影響で価格が急騰した商品もあるが、使用用途を考慮しながら、商品を選定し、支出の増加を抑制した。</p> <p>電気料金の削減を目的に契約方法の変更を行い、秋までは十分な削減効果があったが、冬場の電力需給の逼迫により電気料金が上昇し、年間を通じての電気料金の削減は行えなかった。給食に関する経費については、昨年度から継続し、材料費の単価削減に努めたが、これ以上の材料費削減も難しく、次年度より委託形態の変更を決定し、給食に関する経費の削減を予定している。</p> <p>公費と預り金の担当者を分け、現金についても金庫を分け、保管し、互いに牽制を行っている。</p> <p>会計処理については、経理規定及び経理規定細則に従い、会計処理を行っている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	3	6
利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか					
<p>意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)</p> <p>利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは、処遇方針について振り返りを行い、利用者へ質の高いサービスが実際に行えているか、また、その方法についても適切なものであったかを確認することで、入浴や移乗助方法等、利用者の個別性に合わせたケアが行える施設へと発展させることができた。あわせて、多職種が連携した質の高いサービスを提供できるようになった。感染症対策で面会は中止となったが、スカイプを使用してテレビ電話面会を早期に準備し、利用者やご家族の要望に応えることができた。</p> <p>通所介護事業・総合事業では、バーセルインデックスをデータ管理化し、個々の情報を詳細に管理できたことで、対象者の洗い出し、支援者の訓練及び能力改善を行い、ADL維持加算を年間を通し、取得できた。</p> <p>短期入所事業では、感染症対策に力を入れ、サービスが滞りなく提供できるよう環境整備を行った。通常とは異なる環境でも、個別化したサービスの提供が行えるよう、利用者・家族・ケアマネジャーと、基本的な報告・連絡・相談を密に行い、それぞれの思いを汲み取り、他職種と連携し、介護当事者の思いを傾聴することや、当事者同士が話し合い、気持ちを共有できる場を提供していくことも、家族全体を支援していくために大切であることを再認識することができた。</p> <p>居宅介護支援事業所では、研修に積極的に参加することで介護保険サービスの利用調整だけでなく、介護当事者の思いを傾聴することや、当事者同士が話し合い、気持ちを共有できる場を提供していくことも、家族全体を支援していくために大切であることを再認識し、サービスに繋げることができている。</p> <p>利用者からの意見・要望に対しては、例年同様、利用者満足度調査を実施し、解決すべき課題を抽出し、情報を職員間で共有することで、細かい部分まで配慮した支援を行うことができています。</p> <p>利用者からの苦情や意見に対しても、迅速かつ丁寧に対応している。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>例年同様、きめ細やかな対応ができるよう、介護職員を加配している。また、利用者の状況を理解したケアプランを作成するために、介護支援専門員をフロアごとに配置している。他に有資格者3名。労務補助として2名(障害者雇用)に洗濯や介護周辺業務を担当してもらい、業務の効率化と障害者雇用の促進を図っている。歯科医師や歯科衛生士等多職種による摂食嚥下に関する取組みを行うことで、利用者ごとの口腔内や嚥下状態に合わせた介助が行える人員体制を確立することができた。その他、短期入所の送迎運転手として2名雇用(高齢者雇用の促進)した。介護業務以外の業務を担う職員の採用を行うことで、介護職員の業務軽減を図り、尊厳に配慮した介護が提供できる体制への道筋をつけることができています。</p> <p>職員のスキルアップとして、特別養護老人ホーム事業において理学療法士・看護職員・介護職員の多職種で企画したトランス研修・ポジショニング研修を全職員対象に行った。その結果、利用者の個別性に合わせたトランスやポジショニングができるような知識・技術を得ることができ、質の高い個別ケアと持ち上げない介助に発展させることができた。このうちトランス研修については、その結果をマニュアルにまとめ、今後のひらまの里のトランス方法の基本として整備することができた。新型コロナウイルス感染防止のため全体的に研修の機会が少なくなった中でも、できる限りスキルとモチベーションのアップのため、年度後半はリモートでの研修参加の機会を増やした。その他、これまでAED研修は講師を呼んで開催していたが、コロナ禍で呼ぶことを控えたため、職員が講師役となりAED研修を実施した。講師役を職員が務めることで、より理解が進んだ。また、引き続きインドネシアからの外国人技能実習生を受入れている。</p> <p>委託業務において、契約書・仕様書に基づき業務が適正に遂行されているか日誌や報告書で確認した。</p> <p>安全・安心の取組みとして、職員の離職率が低下したことで、知識・経験の豊富な職員が勤務している状況が増え、利用者への見守り・観察を適切に行ったことで、事故件数は減少した。再発防止策を掲げ、職員間で徹底している。</p> <p>昨年に引き続き「身体拘束についての取り扱い要領」や「高齢者虐待マニュアル」「個人情報保護に対する基本指針」「就業に関する各種規程」、介護保険関係の「運営の手引き」等々、適正な施設運営をしていく上で欠かせないマニュアルについて整備した。新規採用職員に対しては、法令遵守についての研修を行うほか、「コンプライアンスチェックノート」を活用して、コンプライアンスを守るという事について学ぶ機会をつくっている。</p> <p>個人情報に関する取扱いについては、法人の定めた「個人情報保護要綱」に基づき、当施設としての「個人情報保護に対する基本方針」を定め、「事業所が取扱う個人情報の利用目的」及び「事業所が取扱う個人情報」について明文化し、事業所内に掲示している。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>業務日誌・点検記録・修繕履歴等の適切な管理がされている。</p> <p>施設内外及び外溝の清掃は、定期的に整備されている。</p> <p>委託した警備会社の有る警備により、夜間・休日の警備を行い、夜間帯は施設内を4回・敷地内の巡回を2回行い、火災予防、盗難防止を含め安全確保に努めている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、職員全員が感染症対策、健康チェック、利用者への観察力を培うよう情報の共有に努めている。</p> <p>また、職員のスキルアップを目標とし、業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修を定期的に行っている。その結果、介護者の負担軽減や利用者の精神的負担軽減、サービスの質の維持・向上が図られており、全体的な管理運営については、総合評価の結果から優れていると認められる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>令和3年度から民設化し、引き続き同法人により運営がなされる。</p> <p>引き続きサービスの質の維持・向上を目指した運営を行うとともに、地域に開かれた施設として、地域の方々、利用者、利用者家族のニーズの把握に努め、地域包括ケアシステムの構築を推進していく取組みに期待する。</p>
--